

当社製エアゾール式簡易消火具の製品事故のご報告と 自主回収に関してご協力をお願い

ヤマトプロテック株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：乾 雅俊)は、特定期間に製造された当社製エアゾール式簡易消火具の不具合により、変形や液漏れ、亀裂、破裂の製品事故が発生しており自主回収を実施してまいりました。

このような製品事故は本年7月15日現在、838件(うち怪我を伴う人身事故は6件)を数え、皆様にご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。幸いなことにこれまでは生命にかかわる重大事故は発生していませんが、時間の経過に伴い、事故が増加する懸念があります。また、過去の事故発生傾向では、特に気温が上昇する夏場に事故が多発しています。

つきましては、いまだ回収に至っていない不具合品の破裂による不慮の事故を未然に抑えるためにメディアの皆様のご協力を賜りたく、自主回収について現状の発表をさせていただきます。

1. 自主回収の対象商品とその数

エアゾール式簡易消火具(ヤマトボーイKT・FMボーイK)

日本消防検定協会鑑定番号 鑑消第13～4号

製造年：2001年(平成13年)11月から

2002年(平成14年)7月までに製造したもの

品質保証期間：3年3ヶ月

(2005年(平成17年)1月～10月の期間で保証期間は切れています。)

製造本数：約184,000本

■自主回収対象商品	
【ヤマトボーイKT】	
製造ロット番号	品質保証期間
KO331	2005.01
KN326	2005.02
KD317	2005.03
K1426	2005.04
K2407	2005.05
K2420	2005.05
K3407	2005.06
K3419	2005.06
K4422	2005.07
K7424	2005.10

■自主回収対象商品	
【FMボーイK】	
製造ロット番号	品質保証期間
KN301	2005.02
KN322	2005.02
KD319	2005.03
K1425	2005.04
K2408	2005.05
K2421	2005.05
K3406	2005.06
K3418	2005.06
K4423	2005.07
K7425	2005.10

製造ロット番号と品質保証期間は、缶底に表示しています。

例えば、2005年10月に品質保証期間が過ぎる場合、以下のように記載されています。

2005.10



2. 経緯

- ・エアゾール式簡易消火具（ヤマトボーイKT，FMボーイk）は2005年6月より、変形や液漏れ、亀裂、破裂などの製品事故が数件発生し、それ以降増加しています。
- ・人身事故（6件）の詳細：破裂に驚いた女性が転倒して冷蔵庫に頭をぶつけた（2007年1月愛媛） 破片が顔にあたった（2007年11月千葉） 飛び散った消火薬剤が目に入り洗浄（2007年12月埼玉） 破裂したときの音で耳鳴り（2007年12月名古屋で2件） 破裂に驚いた男性がキッチンの角に腹部をぶつけ肋骨骨折（2007年10月千葉）
- ・品質保証期間2005年1月から10月までの該当製品（対象184,000本）については、2005年7月より新聞社告・折込チラシ・戸別配布チラシ・自社ホームページを通じて自主回収に努め、44,063本（7/15現在）を回収しました。
- ・改良を加えた2002年8月以降に生産した製品（品質保証期間2005年11月以降）では、60ヶ月の加速実缶試験を実施し安全性に問題がないことを確認しています。

3. 原因の推定

- ・該当品（鑑定品）の鑑定検査機関である日本消防検定協会や工業試験所などと協力の上、原因究明の調査を実施。
- ・製品事故の主原因は充填薬剤に対する内面塗膜の耐薬剤性がよくなかったことです。
- ・具体的には充填薬剤に対する内面塗膜の耐薬剤性が良くなかったところに設置環境（高温になる場所など）などの条件が重なり、充填薬剤による容器への腐食が始まり、この腐食反応で発生した水素ガスにより徐々に容器内圧が高くなり製品事故に至ったものと推測しています。
- ・尚、充填薬剤により塗膜が侵されてから、製品事故が発生するまでの腐食反応メカニズムについては現在調査研究中。

4. 当社の対応の経緯（参考資料を参照願います）

（1）お客様への対応

製品事故のご連絡を頂きましたお客様には、当社の社員が訪問し、謝罪を行っています。また、補償問題について誠意をもって対応しています。

（2）新聞社告

2005年7月1日から2008年4月21日までに計8回掲載。

（3）当社ホームページにて自主回収の告知と注意喚起を実施

<http://www.yamatoprotec.co.jp>

（4）関係当局への報告

・総務省消防庁に対し、2005年6月3日から現在までの間に随時報告を行っています。

総務省消防庁より、「エアゾール式簡易消火具の不具合（破裂事故）に係る注意喚起の連絡」等が各都道府県へ通知、連絡されています。

・経済産業省消費経済部製品安全課に対し、2006年9月29日から現在までの間に随時報告を行っています。

尚、都道府県別の事故発生状況につきましては別添資料をご参照下さい。

- (5) 全国消費者センターなどへご協力をお願い
2006年9月15日に(社)全国消費者生活相談員協会の会員(約2,000)に、また、2006年9月27日と2006年11月27日の2回、全国各地の消費者センター(530ヶ所)にチラシを郵送。
- (6) 販売店向けのFAXニュース
2005年7月(No.105)より2008年6月(No.146)まで「自主回収のお願い」の掲載。
- (7) 新聞折込チラシでの自主回収の告知
2006年10月11日から2008年7月2日までに計9回(7県761万部)折込チラシを配布。
- (8) 戸別配布チラシでの自主回収の告知
2007年10月9日埼玉県(入間、川越、春日部)、神奈川県(相模原)、千葉県(野田)で20万部、2008年3月3日愛媛県内で30万部、2008年4月15日神奈川県横浜市北部で56万部のチラシを戸別配布。
- (9) 報道関係へのご協力をお願い
2007年9月13日「総務省記者クラブ」「経済産業省記者会」、横浜商工会議所、埼玉県庁、千葉県庁、愛知県庁、大阪府庁、福岡商工会議所の記者クラブに「自主回収についてご協力をお願い」リリースを配布
- (10) 全国危険物安全協会(全国2万会員様)へのチラシ配布
- (11) ヤマトボーイKTならびにFMボーイkについては、2007年8月末をもって生産を中止しました。

5. 回収状況

7月15日現在で、44,063本を回収。

(既に、お客様が廃棄されている分は、数の把握が困難で含まれていません)

6. 今後の自主回収の内容

(1) お客様への告知方法

新聞の折込チラシやチラシの戸別配布(山形県、埼玉県、神奈川県、静岡県、愛知県で予定)

TVCM

ホームセンターなどの量販店へポスター店頭表示

大口販売先へ個別の追跡

防災用品の販売店向けのFAXニュース

当社ホームページ

(2) 交換方法

ヤマトボーイ K Tならびに F Mボーイ kの缶底を確認いただき、対象品に該当にする場合は当社の「お客様相談窓口」へご連絡いただきます。ご要望に応じ無償で引取り、謝礼(クオ・カード1,000円分)を送付します。

お客様相談窓口

フリーダイヤル：0120-801084

受付時間：月～金（祝日除く）午前9：00～午後5：00

弊社ホームページでも詳細を掲載しています。

<http://www.yamatoprotec.co.jp/topics/rc/top.html>

これからも、引き続き品質保証期間の過ぎたエアゾール式簡易消火具の自主回収のお願いを各メディアを通して、また弊社のホームページ及びチラシにて周知を図ってまいります。

今後とも「お客様に満足の得られる商品の提供」に全力を尽くし、さらなる品質管理、工程の管理の強化に努めてまいります。

【本件に関するお客様の相談窓口】

ヤマトプロテック株式会社 お客様相談窓口

フリーダイヤル：0120-801084 受付時間：月～金（祝日除く）午前9：00～午後5：00

【本件に関する報道機関の皆様からのお問合せ先】

ヤマトプロテック株式会社 統括部 朝田登/佐藤淳也

TEL：03-3446-7153 FAX：03-3446-7243

なお、本資料は「総務省記者クラブ」「経済産業省記者会」、山形県庁、横浜商工会議所、埼玉県庁、千葉県庁、静岡県庁、愛知県庁、大阪府庁、広島県庁、愛媛県庁、福岡商工会議所の記者クラブに配布させて頂いています。

探しています!

エアゾール式簡易消火具 お客様へ 自主回収の再々度のお願い

対象品のご連絡をいただいたお客様へ クオ・カード 1,000円進呈

新聞社告等でご案内させていただいておりますが、エアゾール式簡易消火具の一部におきまして、製造工程上の不具合が原因で、内部腐食の進行により、**液漏れや亀裂・破裂がおこる可能性**がある事が判明し、自主回収をおこなっております。皆様には大変ご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。自主回収対象品は、下記の製造ロット番号をご確認ください。品質保証期間が過ぎている関係上、廃棄をお願いしておりますが、お客様の安全と安心をより確実なものとするため、下記の商品をお持ちのお客様は、弊社お客様相談窓口までご連絡ください。対象品のご連絡をいただきましたお客様には、些少ですが謝礼として**1,000円分のクオカード**を進呈させていただきます。今後このようなことのないよう一層の管理体制の向上に努める所存でございますので、何卒、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。なお、品質保証期間が2005年11月以降の商品は、製造方法を改善し、品質管理も徹底しております。液漏れや亀裂・破裂がおこる可能性はございません。



■自主回収対象商品 【ヤマトボーイKT】

製造ロット番号	品質保証期間
KO331	2005.01
KN326	2005.02
KD317	2005.03
K1426	2005.04
K2407	2005.05
K2420	2005.05
K3407	2005.06
K3419	2005.06
K4422	2005.07
K7424	2005.10



■自主回収対象商品 【FMボーイk】

製造ロット番号	品質保証期間
KN301	2005.02
KN322	2005.02
KD319	2005.03
K1425	2005.04
K2408	2005.05
K2421	2005.05
K3406	2005.06
K3418	2005.06
K4423	2005.07
K7425	2005.10

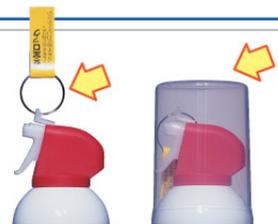
製造ロット番号と品質保証期間は、**缶底に表示しています。**

例えば、2005年10月に品質保証期間が過ぎる場合、以下のように記載されています。

2005.10



対象外品
安心です!



キャップと安全ロックが付いている商品は上記回収の対象外です。ご安心ください。

お問い合わせ

この件に関するお問い合わせ、また廃棄に困る場合やご質問などは、弊社までお問い合わせください。

※なお、ご連絡頂きました個人情報につきましては、本件対応以外には使用いたしません。

ヤマトプロテック株式会社 ※お掛け間違いにご注意ください

お客様相談窓口  **0120-801-084**

受付時間・月～金(祝日除く) 午前9:00～午後5:00

弊社ホームページでも詳細を掲載しております。

<http://www.yamatoprotec.co.jp/>

携帯サイトでも詳細を掲載しております。下記QRコードを読み込んで下さい。



<http://yp-vt.net/ypboykt/>

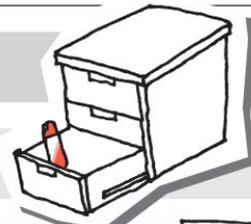
一般家庭での事例

愛知県 (平成18年11月)
クローゼット内にて発見。



福岡県 (平成19年5月)
物入れ (押入れ) に置いていた。

埼玉県 (平成19年10月)
物置に置いてあった。



愛媛県 (平成19年7月)
トイレに設置していた。



大阪府 (平成19年11月)
引き出しの中から発見した。

東京都 (平成19年8月)
掃除用具入れより発見。

東京都 (平成20年1月)
書棚にて発見。



熊本県 (平成19年9月)
押し入れ内より発見。

広島県 (平成20年1月)
台所のシンクの中で発見。

北海道 (平成19年10月)
収納庫の中から出てきた。

兵庫県 (平成20年1月)
窓際に置いていた。



神奈川県 (平成20年1月)
リビングに置いていたもの。

ご家庭以外の事例

ご家庭のキッチン用ですが、こんなところでも...

埼玉県 (平成17年10月)
事務所内パソコンサーバ横に設置していたもの。

東京都 (平成19年2月)
事務所給湯室に据え付けの流し台下に設置したものの。

滋賀県 (平成18年2月)
ビジネスホテル管理人室にて発見。

千葉県 (平成19年3月)
工事現場に持ち込んでいたもの。

福岡県 (平成18年11月)
工場内の無人運転エリアで見つかった。

東京都 (平成19年4月)
会社倉庫内で見つけた。

兵庫県 (平成18年12月)
歯科診療所内の棚上にあっただもの。

愛知県 (平成20年1月)
事務所の受付カウンターの下で発見。

エアゾール式簡易消火具 品質保証期間の過ぎた商品の廃棄のお願い

エアゾール式簡易消火具の品質保証期間を過ぎた商品につきましては、万一の火災に備えて必要な商品であり性能保証をいたしかねるため廃棄をお願いしております。

■ 廃棄処分の仕方 ■

安全ロックにリングのついていないもの

- 1 安全ロックのノズル先端側を、まっすぐに①の矢印方向へ一杯まで引き起こし、完全にちぎりとってください。



安全ロックにリングのついているもの

- 1 キャップを取り、リングを矢印方向へ引いて下さい。



- 2 レバーを握り、バケツなどに全量放射してください。排水口に直接放射してもかまいませんが、その際は、消火薬剤が飛び散ることがありますのでご注意ください。(放射するときは、本体を45度以上傾げずに放射してください。左右方向、後ろ方向に傾けて使用しないでください。ガスのみが出て、十分に消火薬剤が放射されない恐れがあります)

- 3 残ガスを完全に抜いてください。(30秒程度で全て出すことができます)
- 4 消火薬剤は水を主成分とした洗剤に近い成分です。下水などに流しても問題ございません。
- 5 空になった容器は、お住まいの自治体のルールに従ってご処分ください。



■ 誤って放出された場合 ■

● 薬剤は水溶性ですので、から拭きで薬剤を取除いた後に水拭きのお掃除をオススメします。

さらにベトベト感のある場合は、さらに水拭きから拭きをしてください。また、お肌の弱い方は、薬剤が手に付いた場合、肌荒れなどを起こす事も考えられますので、ゴム手袋・モップなどの使用をオススメします。

■ 廃棄上のご注意 ■

- 人に向けて放射しないでください。
- 商品缶体に取扱いにおける注意事項が記載されていますので、ご確認ください。
- 消火薬剤がかかったときは、多量の水で洗い流してください。特に消火薬剤が誤って目に入ったときは、すみやかに水道水で洗い流してください。もし、充血したり目に痛みを感じたときは、医師の診察を受けてください。

お問い合わせ

この件に関するお問い合わせ、また廃棄に困る場合やご質問などは、弊社までお問い合わせください。
※なお、ご連絡頂きました個人情報につきましては、本件対応以外には使用いたしません。

弊社ホームページでも詳細を掲載しております。 <http://www.yamatoprotec.co.jp/>

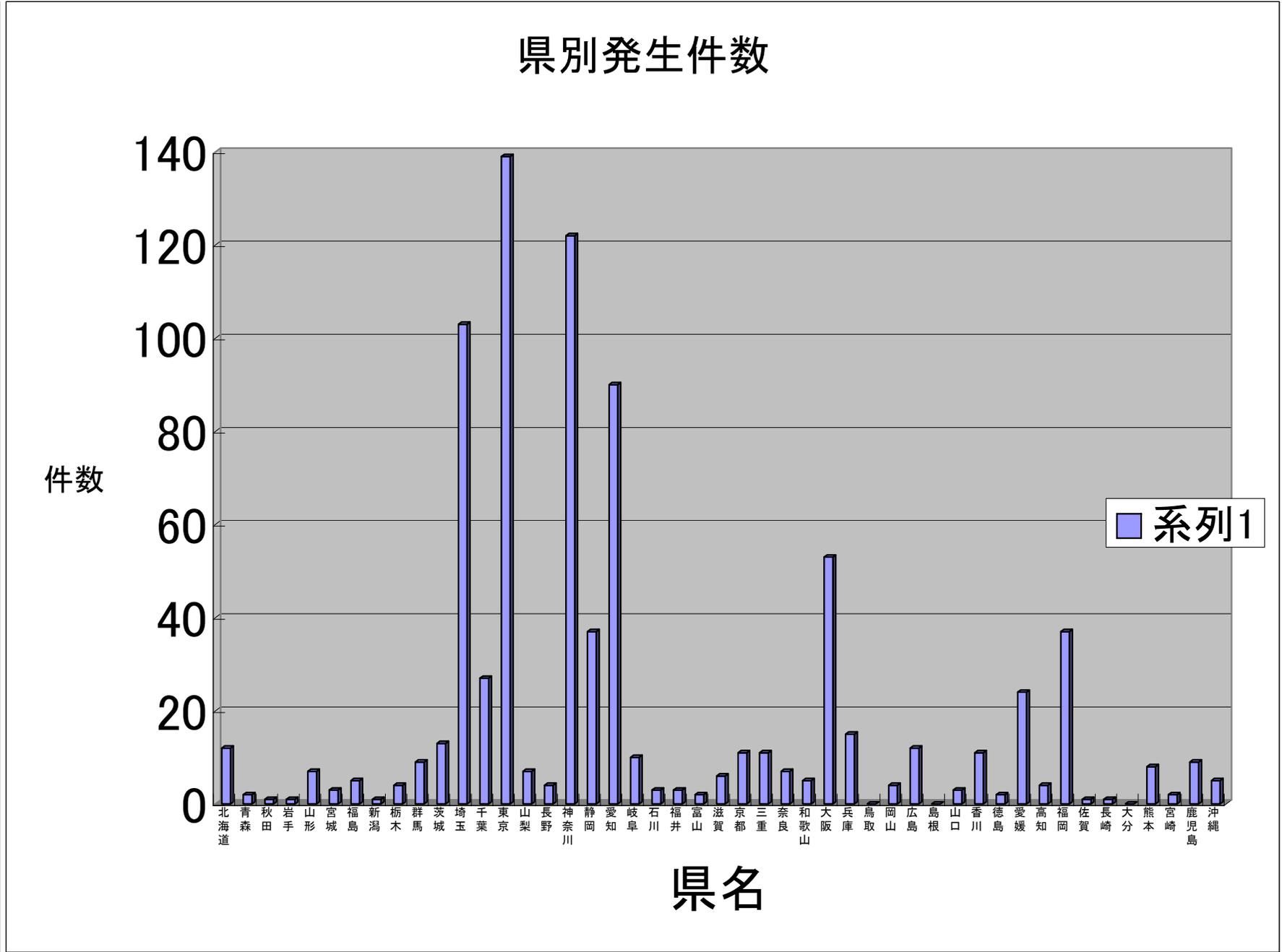
ヤマトプロテック株式会社

※お掛け間違いにご注意ください

お客様相談窓口 (フリーダイヤル) 0120-801-084

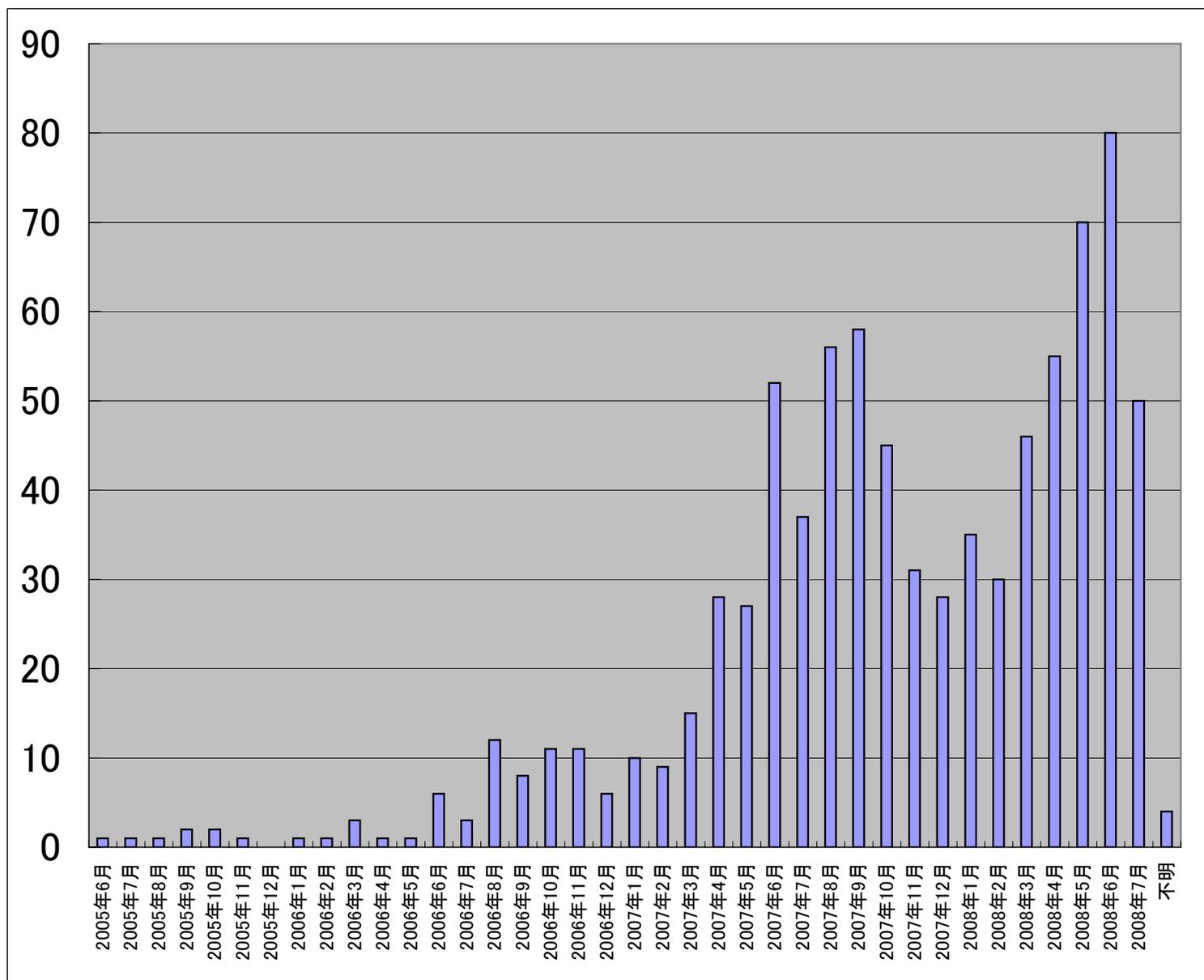
受付時間・月～金(祝日除く) 午前9:00～午後5:00

1	北海道	12
2	青森	2
3	秋田	1
4	岩手	1
5	山形	7
6	宮城	3
7	福島	5
8	新潟	1
9	栃木	4
10	群馬	9
11	茨城	13
12	埼玉	103
13	千葉	27
14	東京	139
15	山梨	7
16	長野	4
17	神奈川	122
18	静岡	37
19	愛知	90
20	岐阜	10
21	石川	3
22	福井	3
23	富山	2
24	滋賀	6
25	京都	11
26	三重	11
27	奈良	7
28	和歌山	5
29	大阪	53
30	兵庫	15
31	鳥取	0
32	岡山	4
33	広島	12
34	島根	0
35	山口	3
36	香川	11
37	徳島	2
38	愛媛	24
39	高知	4
40	福岡	37
41	佐賀	1
42	長崎	1
43	大分	0
44	熊本	8
45	宮崎	2
46	鹿児島	9
46	沖縄	5



エアゾールクレーム発生月一覧表(2008年7月15日現在)

発生年月	件数
2005年6月	1
2005年7月	1
2005年8月	1
2005年9月	2
2005年10月	2
2005年11月	1
2005年12月	0
2006年1月	1
2006年2月	1
2006年3月	3
2006年4月	1
2006年5月	1
2006年6月	6
2006年7月	3
2006年8月	12
2006年9月	8
2006年10月	11
2006年11月	11
2006年12月	6
2007年1月	10
2007年2月	9
2007年3月	15
2007年4月	28
2007年5月	27
2007年6月	52
2007年7月	37
2007年8月	56
2007年9月	58
2007年10月	45
2007年11月	31
2007年12月	28
2008年1月	35
2008年2月	30
2008年3月	46
2008年4月	55
2008年5月	70
2008年6月	80
2008年7月	50
不明	4
合計	838



ヤマトプロテックの対応

H20年7月15日作成

年月日	社告・チラシ	ホームページ	販売店連絡	その他	対応方法	補足事項
H17.6.3				○	被害者宅へ詫びと入間消防本部報告	
H17.6.6				○	検定協会・消防庁へ報告	
H17.7.1	○	●掲載開始			【新聞社告】 2紙 1,835万部	朝日(朝刊全国828万部) ／読売(朝刊全国1007万部)
H17.7.1					【ホームページ】社告内容掲載	現在も継続掲載中
H17.7.2	○				【新聞社告】1紙 14万部	日経(夕刊中部14万部)
H17.7.5			○		【FAXニュース】No106 販売先約1500店	弊社販売店へ社告連絡
H17.7.25				○	検定協会へ調査中間報告提出	
H17.9.17				○	検定協会へ調査中間報告提出原因報告提	
H18.4.1			○		【FAXニュース】No116 2回目	継続で回収促進協力願
H18.5.31			○		【FAXニュース】(No119)3回目	継続で回収促進協力願
H18.6.28			○		【FAXニュース】(No120)4回目	継続で回収促進協力願
H18.7.1	○				【新聞社告】 1紙 828万部	朝日新聞(朝刊全国828万部)
H18.8.1	○				【新聞社告】 5紙 2,240万部	朝日(朝刊全国828万部) ／読売(朝刊全国1007万部) ／産経(朝刊全国208万部) ／日経(朝刊全国300万部) ／毎日(朝刊全国397万部)
H18.8.1			○		【FAXニュース】(No121)5回目	継続で回収促進協力願
H18.8.31			○		【FAXニュース】(No122)6回目	継続で回収促進協力願
H18.9.15				○	(社)全国消費者生活相談員協会	会員約2000名に社告チラシで回収協力依頼
H18.9.29				○	経済産業省消費経済部製品安全課へ経緯と今後の予定を報告	
H18.9.27				○	全国の消費者センター(530ヶ所)	社告チラシで回収協力依頼
H18.10.3			○		【FAXニュース】(No124)7回目	継続で回収促進協力願
H18.10.6			○		【FAXニュース】(臨時)8回目	継続で回収促進協力願
H18.10.11	○				【折込チラシ】 2紙 30万部	朝日、読売(朝刊)さいたま市地区30万部)
H18.11.1			○		【FAXニュース】(No125)9回目	継続で回収促進協力願
H18.11.7				○	経済産業省消費経済部製品安全課へ自主回収と無償交換に切替	現況と今後の作業を報告
H18.11.20		○				ホームページも自主回収に切り替え
H18.11.20	○				【新聞社告】 4紙 1418万部	読売(朝刊全国1007万部) ／河北新報(朝刊51万部) ／中日新聞(朝刊275万部) ／西日本新聞(朝刊85万部)
H18.11.27				○	全国の消費者センター(530ヶ所)	自主回収のお知らせ
H18.12.1			○		【FAXニュース】(No126)10回目	自主回収の促進協力願
H18.12.6				○	消防庁へ不具合発生(腐食のメカニズム)等の試験研究報告提出	東京大学名誉教授(増子昇先生)と兵庫県立工業試験センターの高谷泰之先生との試験研究
H19.1.12			○		【FAXニュース】(No128)11回目	継続で自主回収促進協力願
H19.2.5			○		【FAXニュース】(No129)12回目	
H19.3.1			○		【FAXニュース】(No130)13回目	
H19.3.1				○	消防庁へ内面コートの違いによる不具合発生の研究作業の報告提出	
H19.3.19	○				広島県内70万部の新聞チラシ配布	中国新聞
H19.3.26	○				愛知県内170万部の新聞チラシ配布	中日新聞
H19.4.3と4				○	新聞・TV報道 全国新聞記事36社、TVニュース8番組	
H19.4.4	○				【新聞社告】 5紙 2,240万部	朝日(朝刊全国828万部) ／読売(朝刊全国1007万部) ／産経(朝刊全国208万部) ／日経(朝刊全国300万部) ／毎日(朝刊全国397万部)
H19.4.6				○	消防庁へ 対応報告と今後の自主回収計画書提出 経済産業省(消費経済部製品安全課)へ経緯と今後の対応報告	

年月日	社告・チラシ	ホームページ	販売店連絡	その他	対処方法	補足事項
H19.4.6			○	○	【FAXニュース】(臨時号)14回目	報道の経緯と自主回収の引き続きのお願い
H19.4	○				全国危険物安全協会 会員様	全国2万会員へ配布
H19.6.4			○		【FAXニュース】(NO133)15回目	
H19.6.22			○		【FAXニュース】臨時号(神奈川県・東京都)	
H19.6.26	○				神奈川県内205万部の新聞チラシ配布	朝日新聞、読売新聞
H19.7.5			○		【FAXニュース】臨時号(埼玉県・東京都)	
H19.7.5				○	新潟総合テレビ、NHK新潟	新潟市内発生の不具合事例の報道
H19.7.6				○	新潟日報、朝日新聞(新潟)	新潟市内発生の不具合事例の報道
H19.7.9	○				埼玉県内140万部の新聞チラシ配布	朝日新聞、読売新聞
H19.7.31			○		【FAXニュース】(NO136)16回目	
H19.8.30			○		【FAXニュース】(NO137)17回目	
H19.9.13				○	各報道機関へ製品事故の経緯報告と回収の協力をお願い	
H19.9.14				○	新聞報道2紙	毎日新聞(札幌、東京、大阪、北九州)、山梨日日新聞/自主回収記事
H19.10.1			○		【FAXニュース】(NO138)18回目	
H19.10.5			○		【FAXニュース】臨時号(東京、埼玉)	
H19.10.9	○				埼玉県(入間、川越、春日部)、神奈川県(相模原)、千葉県(野田)で20万部のチラシを戸別配布	
H19.11.2				○	北海道新聞、読売新聞(札幌版)、読売新聞(大阪版)、朝日新聞(札幌版)、室蘭民報、スポーツ報知(札幌)	札幌市内発生の不具合事例の報道
H19.11.5			○		【FAXニュース】(NO139)18回目	
H19.11.15				○	苫小牧民報	札幌市内発生の不具合事例の報道
H19.12.5			○		【FAXニュース】(NO140)19回目	
H19.12.20	○				【新聞社告】3紙 96万部	埼玉新聞(朝刊15万部) ／神奈川新聞(朝刊26万部) ／聖教新聞(朝刊全国55万部)
H19.12.22	○				【新聞社告】1紙 275万部	中日新聞(朝刊、愛知・三重・岐阜・静岡)
H19.12.27			○		【FAXニュース】(NO141)20回目	
H20.1.5			○		【FAXニュース】(NO142)21回目	
H20.2.1			○		【FAXニュース】(NO143)22回目	
H20.3.3	○				愛媛県(松山市、宇和島市、愛南町)で30万部のチラシを戸別配布	
H20.3.5			○		【FAXニュース】(NO144)23回目	
H20.4.7			○		【FAXニュース】(NO145)24回目	
H20.4.15	○				神奈川県横浜市北部で56万部のチラシを戸別配布	
H20.4.21	○				【新聞社告】2紙 42万部	琉球新報(朝刊21万部) ／沖縄タイムズ(朝刊21万部)
H20.5.12			○		【FAXニュース】(臨時号)25回目	
H20.5.22	○				山梨県内30万部の新聞チラシ配布	山梨日日、読売、朝日、産経、毎日
H20.6.25				○	中国新聞(広島西部版)、読売新聞(広島)	広島市内発生の不具合事例の報道
H20.6.26				○	NHKニュース(広島)	広島市内発生の不具合事例の報道
H20.6.28				○	新聞報道2紙	朝日新聞(全国)、産経新聞(全国)/自主回収記事
H20.7.2	○				埼玉県、群馬県内117万部の新聞チラシ配布	朝日、読売、毎日、日経、産経、東京
H20.7.7			○		【FAXニュース】(NO146)26回目	
H20.7.22				○	各報道機関へ製品事故の経緯報告と回収の協力をお願い	